

## パワーポイントとブログを利用した 授業のアーカイブ化

中條 健志

CHUJO Takeshi

大阪市立大学都市文化研究センター

takeshijo?nifty.com

### 0. はじめに

みなさんは授業をどのように記録していますか？ 例えば、ノート等にメモする、データとして保存する、記憶しておく、といった方法があると思います。過去の内容を振り返る、という作業をせずに授業準備や実際の授業を行うことはほぼ不可能といえますから、人によって様々な方法があるにせよ、私たちは「記録」の作業を常に行っています。

筆者は普段、パワーポイントを用いて授業をしています。ここには、板書時間の短縮や視覚的な効果を利用するというパワーポイントの利点を授業に取り入れるだけでなく、データとして授業記録をアーカイブ化するというメリットがあります。このことによって、過去の内容を振り返ったり、コピーまたは改変したりすることが大変しやすくなります。また、授業中に学生から質問等が出た場合も、該当する内容（例えば、文法事項の説明など）に即座にアクセスし、クラス全体で共有することが可能となります。さらに、教師自身の振り返り（グループ・ワークの手順が正しかったかなど）にも有効な材料となります。また、こうしたパワーポイントのデータをブログ上に掲載し、参加者（＝学生）と教師が教室外で復習や予習、授業準備をしやすい環境をつくっています。

以下では、アトリエでのご意見を踏まえながら、パワーポイントとブログを用いた、一つの方法としての「授業の記録づくり（＝アーカイブ化）」を簡単に紹介したいと思います。

### 1. 記録する

日々の授業を記録する方法は、授業形態（内容、参加者数など）によって様々だと思います。筆者が以前から知っていた方法としては、ノート等へのメモ書きに加え、ブログに掲載する、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（「ミクシィ」や「フェイス・ブック」など）を利用する、あるいは、メーリング・リストから、

## **Rencontres Pédagogiques du Kansai 2011**

情報を特定の人（参加者やペア授業の教員など）に送信するというものでした。これらの方法をみると、初めの「メモ書き」以外は、他人に情報を発信したり、情報を交換し合ったりすることがあらかじめ想定されていることが分かります。この点は、筆者にとって重要な点となります。

アトリエでは、「教科書に書き込む」、「データとして保存する」、「自分宛に（授業内容を）メールする」、「ペアの先生からのメール（をプリントアウトしたもの）の下に手書きでメモする」といった方法が挙げられました。

### 2. なぜ記録するのか？

ところで、授業の内容をなぜ記録しなければならないのでしょうか。一般的には、忘れないようにするため、あるいは、授業準備のため、ということが理由であると思われまます。また、ふりかえるため、参加者からの質問や要望などを残しておくため、といったこともあるかもしれません。

アトリエで出されたのは、「次（来年度）の授業のため」、「論文のため」、「ほかの先生と（当該の授業について）話すため」といったご意見でした。最初の2つは、授業や論文につなげる、すなわち、授業内容を後に——自身の活動として——活かすための考えだといえます。一方で、3つ目は、記録したものを他人に発信することが想定されています。

従って、以上のことを整理すると、「記録」には内省的な目的と、他者との情報共有を目指すものがあることが分かります。筆者は、この2点をつなぎあわせたものとして、パワーポイントとブログによる記録づくり、すなわち「アーカイヴ化」を捉えています。

### 3. 一つの記録方法としてのパワーポイントとブログ

視覚的効果やデザイン性といった、パワーポイントの効果は既に知られるところですが、ここではあくまで「アーカイヴ化」に焦点を絞ります。筆者は、授業を単に記録するだけでなく、それをペア授業の教員や参加者と共有することを目的に、パワーポイントのデータを保存し、また、それらをブログ上で公開しています。

データを保存するところまでの利点としては、時系列的にフォルダ分けをすることで、過去の授業内容を容易に検索できる、以前のスライドをコピー・改変することができる、授業の流れを教室外で再現することができる、といったことが考えられます。そして、ここにブログ化を加えることで、教師側だけにあった「記録」を参加者が共有できるようになり、例えば、ノートを取り忘れた個所を確認したり、グループ・ワークを教室外で復習したり——これは、筆者が参加者に「復習」として最も望んでいることで、「アーカイヴ化」を考える契機になった点です——、あるいは、2ヶ月前の授業を（スライドを見ながら）ふりかえったりすることが可能となります。

### 4. まとめと今後の課題

筆者は、2010年度から大学での授業を担当しはじめましたが、初めてペア授業や参加者が複数いるクラスを経験する中で、日々の授業の内容やその記録を教師側（間）だけに留めず、参加者と共有するためにはどのようにすれば良いか、を考え

## **Rencontres Pédagogiques du Kansai 2011**

できました。そのための、現時点で最も望ましいと思われた対応策がパワーポイントとブログの利用だった訳ですが、これまでの授業を参加者側が、当日の流れに近い形で振り返るための環境づくりは、一応のところ、達成できたのではないかと思います。

ただし、現時点では、授業で提示したスライドのみを記録しているため、参加者から出た意見や、教師が気付いたことなどがそこに反映されていません。従って、授業内で生まれた議論を、どのように記録の中に取り込んでいくかが課題となります。また、参加者が「アーカイヴ」をどのくらい、どのような形で利用しているかについても詳しく調べていく必要があると思います。

ブログ URL : <http://cours.mamagoto.com/>